

「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と 学校規模の適正化検討委員会ニュース

発行日：平成 25 年 7 月 5 日

発行：検討委員会事務局

第 5 回検討委員会 開催

☆平成 25 年 5 月 16 日（木）午後 7 時から
大正中学校 ミーティングルーム



1 はじめに

◇前回の第 4 回検討委員会では「俣野小学校の児童数が 120 人を下回ることが確定した場合、その翌々年度の 4 月に深谷台小学校と俣野小学校の学校統合を実施する」ことが決まりました。今回の第 5 回検討委員会では今後の検討の進め方について議論しました。また、前回の検討委員会で要望のあった両校の校舎等に関する客観的な資料を事務局から提供しました。

今回の検討委員会の内容をお伝えします。

- 俣野小学校の児童数が 120 人を下回るまで、検討委員会の開催を休会することになりました。
- 俣野小学校の児童数が 120 人を下回るとは、4 月 5 日の入学時点の児童数で確認することになりました。
- 今後の開催については、検討委員会の委員長・副委員長と教育委員会で情報を確認しながら相談して決めることになりました。



2 検討委員の交代について

◇第 5 回検討委員会から検討委員の交代がありましたのでご報告します。

新しく就任した検討委員（敬称略）

古賀 浩	県ドリームハイツ自治会会長	向井 本衛	ファミリー戸塚自治会会長
村澤 嘉明	レジェ戸塚深谷自治会会長	岩切 隆裕	深谷台小学校 P T A 会長

3 検討委員会での主な質問・発言（★委員 →事務局）

（検討委員会の冒頭に事務局から児童数の確定時期について確認しました）

→前回の第 4 回検討委員会で、俣野小学校の児童数が 120 人を下回ることが確定した場合、その翌々年度の 4 月に深谷台小学校と俣野小学校の学校統合を実施することになりました。「120 人を下回ることが確定」という意味は、4 月 5 日の入学時点の俣野小学校の児童数と考えています。統合校の開校は、ここから丸 2 年というご理解をいただければと考えています。

★地域でも色々な意見がありました。第 4 回の検討委員会で俣野小学校の児童の数が 120 名を下回ることが確定した場合、両校の学校統合を実施するというのを皆さんに確認していただきました。また、今回の検討委員会では今後の具体的な検討を進めることになっていました。しかし、俣野小学校の児童数が 120 名を下回ることが確定してから具体的な検討をしても遅くないと考えます。その時期まで、この検討委員会を休会とさせていただきたいという意見です。

★深谷団地では、ここ 2～3 年のうちに小さなお子さんが 10 名程度増えています。深谷団地としては、統合に何が何でも反対ではありませんが、「現時点で俣野小学校の児童数が 120 人を下回っているわけではない」、「将来どのような変化があるかはわからない」、「現在の小学校の通学区域は適切なものなのか」ということも問題になりました。また、保護者の方から「統合はまだ決まったわけではないですね。何とか俣野小学校が残る方法はないんですか。」という相談を受けています。私は、俣野小学校は横浜でも一番良い学校じゃないかという思いもあります。私も休会に賛成です。

★俣野小学校のPTAでは、5月12日に保護者説明会を行いました。参加されたのは10名程度でした。保護者説明会では、「俣野小学校の児童数が120人を切るまで、具体的な検討してほしい」という意見にまとまりました。児童数が120人を下回るまでは何もしないのではなくて、地域や俣野小学校が活性化するような活動を行いたいと考えています。また、地域と保護者の代表の方から検討委員会への要望書が届いています。要望書の内容は、「俣野小学校の児童数が120名を下回ることが確定するまで統合に向けての具体的な検討を進めないでください」という要望です。

★このまま休会にして、俣野小学校の児童数が120人を下回ったときに、すみやかにどちらの学校の校舎を使用するかを決めて、統合校名も決めて、翌々年度にしっかりと統合校が開校できるようにすればいいのではないのでしょうか。俣野小学校の児童数が120人を下回った翌々年に統合しなくてはならないということを逆手に取って、この地域が仲良く一生懸命取り組むことを討議した方がプラスになると思います。

★私も休会に賛成です。感情的な問題もあると思いますが、俣野小の児童数が120人を下回る時期が何年後になるかを考える必要があると思います。住宅の開発等により1～2年で町が変わることがあるので、通学路の安全点検等は今はできないと思います。

★私は休会に反対はしません。協力していきます。私たちは、努力してお互いに助け合っていこうという気持ちは同じだと思います。

★今の状況は、統合するのに一番タイミングが悪いと思います。来年や再来年の俣野小学校の児童数が何人かわかりません。町の状況が変わって、児童数が増える可能性もあります。俣野小学校の児童数が120人を下回るまで具体的な検討をする必要はないと思うので、しばらく休会すればいいと思います。

★どちらの校舎を使用するか話し合っても、自分の地域の学校を残すのが一番良いに決まっていると思います。私は前回の検討委員会はとても意味のあるものだったと思います。俣野小学校の小委員会から「俣野小学校の児童数が120人を下回った場合、深谷台小学校と俣野小学校を統合することもやむを得ない」という結論が出され、それが承認されました。これは、検討委員会の中でとても大きなことだったと思います。検討を休止するべきという意見が出ていますが、この段階で検討をストップすることはできるのですか。それとも、今後も検討を継続しなければならないのですか。教育委員会としての意見を聞かせてください。

→教育委員会としては、小規模校には課題があるということを説明しています。前回、俣野小学校の児童数が120名を下回った場合、深谷台小学校と俣野小学校を統合するということを決めていただきました。以前から申し上げていますが、急いで検討を進めるつもりはありません。検討委員の皆様もそのようにお考えだと思います。しかし、休会という形になると先延ばしになってしまいます。今後、検討が必要な項目については第1回の検討委員会でお示ししましたが、特に校舎についてはある程度の時間も必要だということも前回申し上げました。ですから、皆様方の中で様々なメリット・デメリットを含めてお話した中で、それでやるんだということが決まれば、教育委員会としては一生懸命頑張っていくしかないと考えています。ただ、検討結果を意見書としていただけないと子どもは全体の意思決定としての考え方として捉えにくいものがありますので、どの段階まで書き込んでいただくかということもあると思います。他の地域では全て一回目の意見書に入れていただくこともあれば、例えば、統合はしますよ、校舎はこっちですよ、でも統合校名はまた検討しましょうね、ということがなくはなかったです。それはそれでいろんなやり方があるのかなと思っています。

→一つ訂正させてください。俣野小学校の児童数を120名とした根拠は、一般学級の児童が20名を下回ってしまうと、特に高学年になったときに小学校の教育活動に支障をきたすという例があります。これは、必ずしも今の俣野小がそうだということではなく、一般論です。つまり、120人という児童数は一般学級の児童数ですので、一般学級の児童数が120人を下回ることが確定した翌々年度に統合することをご理解ください。

★4月5日に俣野小学校の児童数が120人を下回ることが確認された場合、統合校の開校まで、それから丸2年という話がありました。その2年の中でそれらの課題は解決できますか。

→2年ありますので教員の関係は大体クリアできると思っています。一番の課題は、統合校が使用する校舎です。それを決めていただくと非常にありがたいし、それを決めていただかないと無駄遣いをする部分が出てくるかと思えます。それを懸念しています。

★これまでの検討委員会では、お金の話は一切ありませんでした。私たちが検討するのは、すべて子どものためと聞いています。

★この検討を始めるときに、教育委員会は、「お金の問題ではありません」と言いました。もし、お金のために検討しているのであれば、私たちの中で話し合う必要はなかったと思います。これまでは「両校の子どもたちのために話し合ってください」ということで、とても多くの時間を費やしてきましたが、最初から「お金がないから統合してください」ということであれば、行政が一方的に統合すれば良いと思います。

→説明が不足しておりましたが、結果的に統合していく学校に重点的に環境整備をするための予算を確保していきたいという意味で申し上げました。

★当面は休会で良いかどうかということについて、賛否を取りたいと思います。検討委員会を解散するわけにはいきません。休会というのは継続していくことですので、地域で話し合って検討はせざるを得ないと思います。その中で問題があれば教育委員会と連絡を取って、「検討委員会を開催しましょう」ということもあると思います。今の状況や地域の要望を聞くと、当面休会でいいかと思えます。

★俣野小学校の児童数が120人を下回った場合、統合するということが決まっているので、もしそうなった場合、統合はしょうがないと思います。しかし、120人を下回る前に準備するという事に私は納得いきません。

★休会ということでよろしい方は挙手してください。

(多数の検討委員が挙手)

★当面は委員長・副委員長で情報を確認しながら教育委員会と相談していきたいと思っています。当面は休会ということをお願いします。俣野小学校の児童数が120人を下回った場合には検討委員会を再開します。反対意見はありませんね。

→休会という形になれば、現在の検討委員の皆さんは残るのですか。

★できるだけ検討委員は代えたくありません。代えないようにします。

★私が一番心配しているのは、決めておくべきこと、特に、どちらの学校にするかという一番苦しい決定を先送りして、それで本当にいいのでしょうか。私は、それについてはっきりとした答えを持っていないんですけど、本当にいいのでしょうか。

★施設改修は2年もかかるものなのですか。統合する場合、どのように施設改修を行うのが一般的なのかを教えてください。

→基本的には、クラスの並びが良くなるように特別教室と普通教室の数、内装の工事みたいなものを行います。それから学校施設を学校以外のことで使っているケースもありますので、それを含めて地域の方と使いやすいように話をするのが通常です。

★再開するときの検討委員会の委員は、今ここにいる方なのでしょうか。

★委員が代わると、また一から出直さなければなりません。

★残れる人は残って、残れない人は、これまでに決まった120人という基準が変わることのないよう、次の人にしっかりと引き継いでいけばいいと思います。

4 両校の施設状況について（当日配布した資料）

		深谷台小	俣野小
敷地面積		11,702 m ²	11,418 m ²
構造		鉄筋コンクリート造 (地域交流室のある棟は鉄骨造)	鉄筋コンクリート造
階数		4階	4階
建築年度 ^{※1}		昭和47年度(40年目)	昭和50年度(37年目)
校舎面積		6,684 m ²	5,097 m ²
体育館面積		563 m ²	667 m ²
校庭面積		3,848 m ²	3,485 m ²
保有教室	普通教室 ^{※2}	24教室	18教室
	個別支援	2教室	2教室
	特別教室	6教室 ^{※3} +第2音楽室	6教室 ^{※3}
耐震		H24：鉄骨造の棟と給食室を耐震診断 (他はH10、H16に耐震補強実施)	調査及び補強工事完了。 (H9、H14に耐震補強実施)
その他		○地域防災拠点	○地域防災拠点 (浸水のおそれのある区域に該当) ^{※4}

※1 校舎の建物のうち、最も古い建物の建築年度。

※2 普通教室には、クラスルーム以外に学習室、はまっ子、PTA会議室、地域交流室等を含む。

※3 特別教室の6教室は理科室、音楽室、家庭科室、図画工作室、図書室、視聴覚室を示す。

※4 出典：戸塚区洪水ハザードマップ

次回の検討委員会の開催は、新年度の児童数が把握できる時期に、状況を確認して開催を決めてまいります。

引き続き、皆様からのご意見を受け付けております。FAXかEメールで、事務局（学校計画課）までご連絡ください。

「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と学校規模の適正化検討委員会事務局（学校計画課）

電話 045-671-3252 FAX 045-651-1417 Eメール ky-totsuka@city.yokohama.jp

「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と学校規模の適正化検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はインターネットでも見る您可以通过。

・「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と学校規模の適正化検討委員会：

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/>

・基本方針等：<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/kyoiku-info/gakku-houshin.html>

